

石谷遺跡・石谷古墳群 1号墳（その2）

羨道（せんどう）の痕跡がみつかりました！

石谷1号墳（伊賀市）では石で造られた部屋が横向きに開口する「横穴式石室」の中に遺体を安置していたと考えられます。今回みつかった羨道とは、遺体を安置する部屋である玄室（げんしつ）と古墳の外をつなぐ部分で、本古墳では破壊されていることが予想されていました。上に積もった土を取り除いたところ、羨道に用いていた大きな石材などが確認できました。羨道の真ん中には排水溝と思われる石の並びも出ており、そこから多数の須恵器（すえき）も見つかりました。

また、石室内がのぞける穴から写真を撮ったところ、玄室の中の様子を確認できました。大小の石材を用いて壁と天井を構築しており、天井には特に大きな石を使用している様子がわかります。今後、石室の中に入りその構造や副葬品（ふくそうひん）の有無を調査する予定です。



羨道 全景



石室内部



作業風景

問い合わせ先

515-0325

三重県多気郡明和町竹川 503

三重県埋蔵文化財センター

担当：樋口・長谷川

電話：0596-52-7028

FAX：0596-52-7035